

修士論文（要旨）

2015年1月

中国にルーツを持つ子ども4人の中国語継承
—保護者と中国語教師へのインタビューから—

指導 佐々木倫子 教授

言語教育研究科

日本語教育専攻

213J3021

劉玉紅

Master's Thesis (Abstract)

January 2015

The Heritage Language of Four Chinese Children in Japan: Based on Interviews with
Parents and Chinese Language Teachers

Liu Yuhong

213J3021

Master's Program in Japanese Language Education

Graduate School of Language Education

J.F. Oberin University

Thesis Supervisor: Michiko Sasaki

目次

第1章 研究背景と目的

1.1 研究背景	1
1.2 研究目的	2
1.3 用語の定義	2
1.4 先行研究	3

第2章 調査概要と分析方法

2.1 調査概要	6
2.2 分析方法	11

第3章 調査結果

3.1 保護者別調査結果の概要	12
3.2 教師の調査結果の概要	25

第4章 総合的考察

4.1 複言語使用	33
4.2 中国語継承に関わるリソース	43
4.3 在日中国人保護者の言語教育観	50
4.4 考察	54
4.5 終わりに	58

謝辞	60
----	----

参考文献・参考ウェブサイト	i - iii
---------------	---------

巻末資料 I【インタビュー調査協力の依頼書および同意書】(日本語版)	a
------------------------------------	---

巻末資料 II【インタビュー調査協力の依頼書および同意書】(中国語版)	b
-------------------------------------	---

要旨

第1章 研究の背景と目的

現代社会において、多くの人々が国境や国家に捕らわれず、世界中を移動しながら生きている。親の移動に伴い、子どもたちの移動も多く、複数の言語や文化の間で成長する子どもたちが急増している。これらの多文化・多言語を背景とする子どもたちの母語・母文化継承を重視しなければならない。しかし、日本で暮らす中国人家庭や日中国際結婚家庭では、居住地の言語である日本語を第一言語として教えることが多いようで、稿者の周囲の人々も同様である。子どもの保護者たち及び子どもの教師との接触の中で、家庭の言語環境や親の意思決定と行動が子どもの言語学習に非常に大きな影響を与えていると実感した。

また、現在日本で暮らす多文化の子ども日本語力については議論される機会も多くなってきたが、彼らの母語保持の状況や家庭での言語環境の詳細を知ることは比較的少ない。特に中国にルーツを持つ子どもの中国語継承に関する先行研究は非常に限られている。

本研究は、中国にルーツを持つ子ども達に注目し、インタビュー調査を行った。調査対象である3歳児からのデータ収集は参与観察以外には難しい。よって本研究では保護者と教師へのインタビューデータを中心とした。協力した4家庭の子ども中国語の継承、保持の実態を詳細に解明し、以下の研究課題を明らかにすることを目的とする。①中国語の継承ができていないのか、どのように中国語を継承、保持しているのか。②家庭内でどのような言語使用をしているのか③中国語継承に関して、どのようなリソースがあるのか、在日中国人保護者はどのような言語教育観を持っているのか。

その上、中国にルーツを持つ子どもについて、家庭を中心に、子どもの複言語使用、中国語継承と保持に関わるリソースの状況、在日中国人保護者の言語教育観について考察する。

第2章 調査概要と分析方法

本調査では、中国にルーツを持つ子どもの中国語継承・保持の状況に関して、家庭生活の面を中心に、子どもの中国語教室の状況も加え、インタビューを行った。3歳児からのデータ収集は参与観察以外には難しい。よって本研究では保護者と教師へのインタビューデータを中心とした。調査協力者は20代から40代の中国人保護者4名と、子どもの中国語教室の教師2名（うち1人は保護者と重複）である。上記の保護者と教師に対し、2014年4月から6月にかけて半構造化インタビューを行った。自己開示と意思疎通を促し、良質のデータ収集を可能にするため、調査協力者と調査者の母語である中国語でインタビューを行った。

分析に当たっては、佐藤（2013）の「コード・マトリックス」を参考とし、取り出したものから、概念的カテゴリーを作り上げ、「基本方針」、「将来設計」、「文化継承」、「アイデンティティ」、「家庭内言語」、「リソース」、「コミュニティ」の7つの視点を得た。

第3章 調査結果

今回の調査は小範囲に限っているが、家庭間の差異は大きい。子どもに日本語と中国語の両方

を身に付けさせたいと思っている親子の周りには中国人の友達がおらず、将来子どもが中国語能力を失うことを心配している保護者はいる。それに対して、周囲に中国語継承のリソースが豊富にあるが、中国語の学習は日本での生活にマイナスの影響を与えかねないから、日本語だけでいいと考え、子どもを中国語と中国文化のインプットを遮断している保護者もいる。前者の子どもは現在日中バイリンガルで、両言語ともよくでき、後者の子どもは母語である中国語も徐々に喪失してきた。保護者の言語教育観が子どもの中国語継承に大きく影響を与えていると言える。またより多いのは、子どもの言語発達について深く考えていない保護者達である。子どもがそのまま日本語と中国語をまぜて話すことを無視している。中国にルーツを持つ子どもの中国語継承・保持にはさまざまな深刻な問題が存在している。

第4章 総合的考察

インタビューデータの考察は、視点を大きく「言語使用」と「リソース」に分け、さらにそれぞれを「家庭」及び「中国語教室」という2つの場所に軸をとり、見ていく。中国にルーツを持つ子どもの複言語使用状況、中国語継承に関するリソース及び在日中国人保護者の言語教育観を中心に、各事例の詳細な分析、比較をすることによって調査結果を分析し、考察を試みる。

さらに、子どもの中国語継承に影響を与える要因を総合的に考察し、子どもの中国語継承と保持に対して、家庭面がすべきことについて提言を試みる。

しかし、中国にルーツを持つ子どもは非常に多様である。今回の調査は小範囲、少人数であるため、データが限られている。これまでの研究も非常に少ない。日本に住む外国人の中で最も大きなコミュニティを形成しているのが中国人であり、従って、中国にルーツを持つ国際児も多い。今後、様々な面から、広範囲に深く研究されていくことを期待したい。

主要な参考文献

- 石井恵理子 (2000) 「ポルトガル語を母語とする在日外国人児童生徒の言語教育に関する父母の意識」『日本語科学』5号 国立国語研究所 116-136
- 小川郁子 (2009) 「外国人児童・生徒の学習権を保障する-制度改革、意識改革、今のままでもできること-」
<http://www.kikokusha-center.or.jp/resource/ronbun/kiyo/10/59-79.pdf> (2014. 12. 27)
- 桶谷仁美 (2007) 『家庭でバイリンガルを育てる-0歳からのバイリンガル教育-』明石書店
- 坂本光代 (2014) 「文化間移動と子どもの言語発達」宮崎幸江 (編) (2014) 『日本に住む多文化の子どもと教育-ことばと文化のはざままで生きる』上智大学出版 3-13
- 佐藤郁哉 (2013) 『質的データ分析法 原理・方法・実践』新曜社
- 志水宏吉・清水睦美 (2001) 『「ニューカマーと教育」学校文化とエスニシティの葛藤をめぐって』明石書店
- 中島和子 (1998) 『言葉と教育-海外で子どもを育てている保護者のみなさまへ-』海外子女教育振興財団
- 中島和子 (2001) 『バイリンガル教育の方法』(増補改定版) アルク
- 原みずほ (2002) 「多言語併用教室の言語使用に関する研究-日本における加算的バイリンガリズムの実現を目指して-」
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/bitstream/10083/48966/1/02-HaraM-re051220-final.pdf> (2014. 11. 06)
- 姫田麻利子 (訳) 「複言語複文化能力とは何か」『大東文化大学紀要〈人文科学編〉』第49号 (2011)
http://www.coe.int/t/dg4/linguistic/Source/SourcePublications/CompetencePlurilingu e97_jap.pdf (2014. 10. 12)
- 穆紅 (2008) 言語少数派の子どもの母語保持・育成に関わる要因-母語の認知面に注目して-(日中韓3か国合同ジョイントゼミ(北京)) 『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」活動報告書』193-195
- 宮崎幸江 (2014) 「多文化の子どもの家庭における言語使用と言語意識」『上智短期大学紀要』第34号 117-135
- 湯川笑子 (2005) 「バイリンガルの言語喪失を語るための基礎知識」『母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究 (創刊)』 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 研究会 1-24

参考URL

- 法務省 (2013) 「在留外国人数統計調査報告」(最終検索日 2014. 09. 29)
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do>
- 中国語水平考試 HP (最終検索日 2014. 11. 14)
<http://www.chinesetest.cn/>
- 実用中国語講師能力検定 (JCT-TEST) 試験 HP (最終検索 2014. 12. 10)
<http://www.jct-test.com/>